

人民币週間レポート

2025年7月25日発行

みずほ銀行（中国）有限公司
中国為替資金部

MIZUHO 瑞穂銀行

【人民元為替概況】

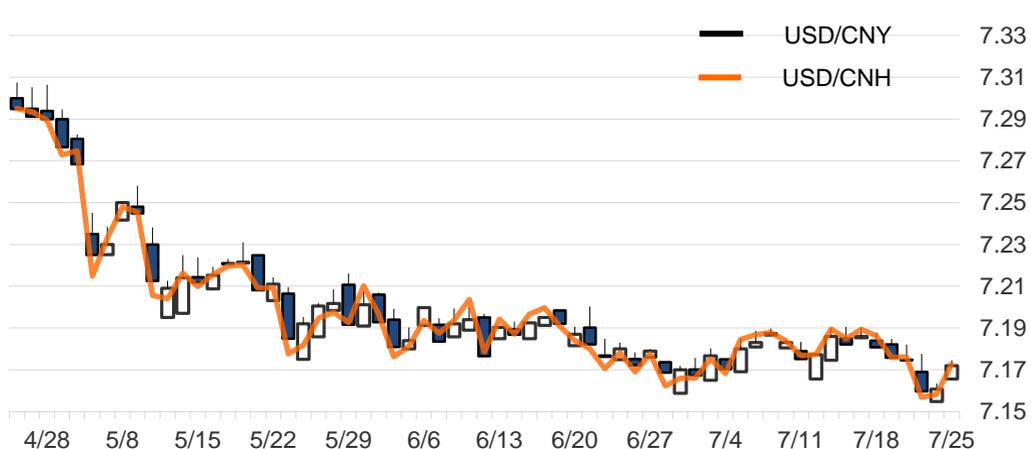
回顧：リスクセンチメントの改善を受け人民元高方向に推移

- ドル人民元(USDCNY)は21日、7.17台後半でオープン。その後週央にかけて緩やかに元高が進行。23日は日米関税交渉の早期合意、今月末の3回目の米中関税交渉協議といった報道にリスクセンチメントが改善し、USDCNYは7.15台前半まで下落。24日はPBOC基準値が節目となる7.14を割り込んで設定されたことを受け、USDCNYは一時7.14台後半をつけた。25日午前11時現在、7.16台にて推移している。
- 円人民元(JPYCNY)は21日、週末の参院選の結果を受けてドル円が円高方向にギャップオープンする中、JPYCNYは4.83台半ばでオープン。その後米金利低下を背景にドル円がじりじりと円高推移する中、JPYCNYも4.86台まで上昇。翌22日は一時4.85台まで下落する場面が見られたものの、その後米国時間に入り、ベッセント米財務長官がパウエルFRB議長について「今辞任する理由は見当たらない」と述べたことなどが材料視され、米金利低下・ドル円下落の動きと相まってJPYCNYは4.90近辺まで上昇。23日は日米関税交渉の早期合意、石破首相の進退報道にドル円が乱高下する展開に、JPYCNYも4.83-4.86のレンジで上下に振れる展開となった。24日は円を売り戻す動きとなり4.86台まで下落。25日午前11時現在、4.86台にて推移している。

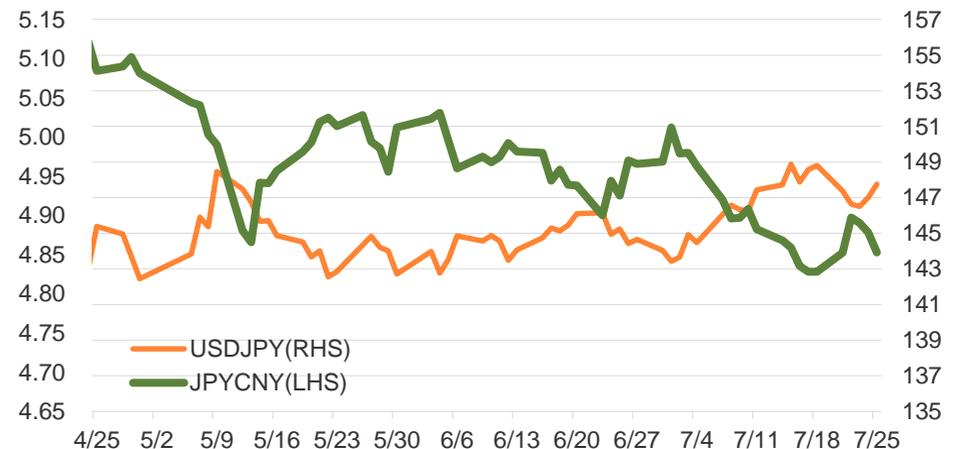
見通し：引き続き中米通商政策にかかるヘッドラインに警戒

- 来週は28-29日の日程でストックホルムにて3回目の中米通商協議が予定されている。来月12日に両国の関税交渉期限を控える中、具体的な内容の伴う合意に至るかどうか焦点となる。また追加関税適用一時停止措置の期限延長についても協議するとみられ、協議に進展がみられれば、引き続き人民元をサポートする材料となるだろう。いずれにせよ、ヘッドラインに振らされる展開には引き続き注意していきたい。
- 来週は29-30日にFOMC、30-31日に日銀金融政策決定会合が予定されている。FOMCは政策金利変更無しがほぼ織り込み済のため、市場予想通りの結果となれば、為替相場への影響は限定的だろう。一方、日銀金融政策決定会合については、日米関税交渉の早期合意を受け、日本経済における不確実性が後退したとの見方から利上げが俄かに意識されている状況。政策変更無しが基本線ではあるものの、サプライズがあれば円高リスクに警戒したい。

USD/CNY, USD/CNH Spot Rate



JPY/CNY, USD/JPY Spot Rate



【人民元金利概況】

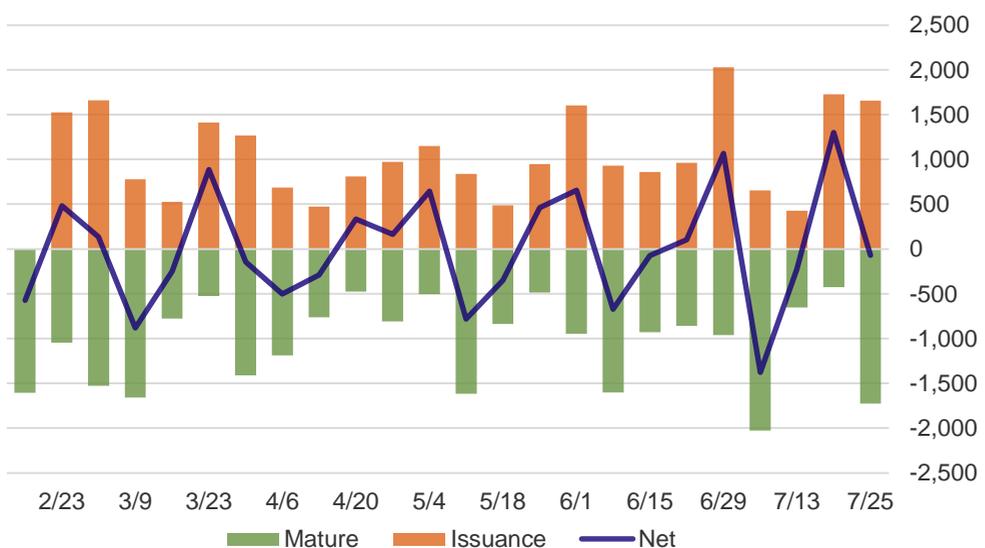
回顧: 短期資金市場がタイト化する中、O/N金利は上昇

- PBOCは7日物リバースレポにより合計1兆6,563億元の資金供給を実施。満期到来分とネットで705億元の資金吸収となった。資金市場は月曜日から木曜日までにPBOCよりネットで6,723億元の資金吸収が行われたこともあり、短期ゾーンの流動性はタイト化し、O/N金利は1.6%近辺まで上昇。その後金曜日には同資金供給オペによりネットで6,018億元の供給が行われたことに加え、MLFにより4,000億元の資金供給(月間ではネットで1,000億元の供給)が実施されたことを受け、O/N金利は1.5%台まで低下して越週。また、21日に公表されたLPR(貸出最優遇金利)は市場予想通り、1年物3.0%/5年物3.5%で据え置き。
- 債券市場は、O/N金利の上昇や株価が約3年7ヶ月ぶりの高値圏まで上昇したこと等を背景に、短期・中期・長期すべてのゾーンで金利上昇する動きとなった。

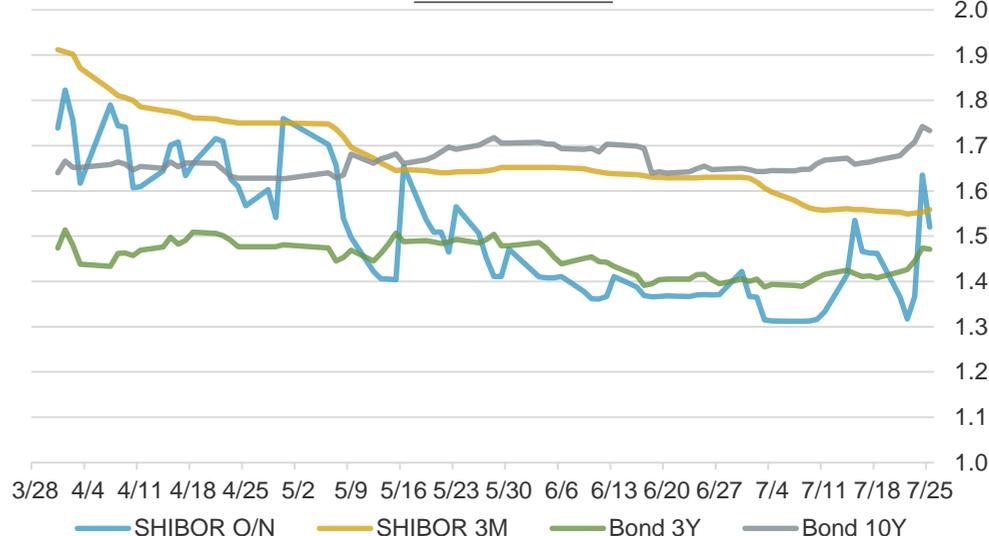
見通し: 来週は重要中銀イベントが目白押し。中国サイドは今後の政策方針に引き続き注目

- O/N金利が約2か月ぶりの水準に上昇する中、週明けのPBOC7日物リバースレポの供給金額および短期マネー金利水準に注目したい。
- O/N金利上昇に加え、市場全体でリスクセンチメントが改善し、上海総合株価指数に見られるように株式市場が堅調に推移する中、債券市場は上値重い展開を継続することが想定される。
- 来週はFOMC、日銀金融政策決定会合が予定されており、重要な中銀イベントが相次ぐ。また中国サイドでは今後の政策方針が示される可能性もあり、各種報道には注目していきたい。

Injection of Repo/Reverse Repo (Total per week) (RMB Bio)



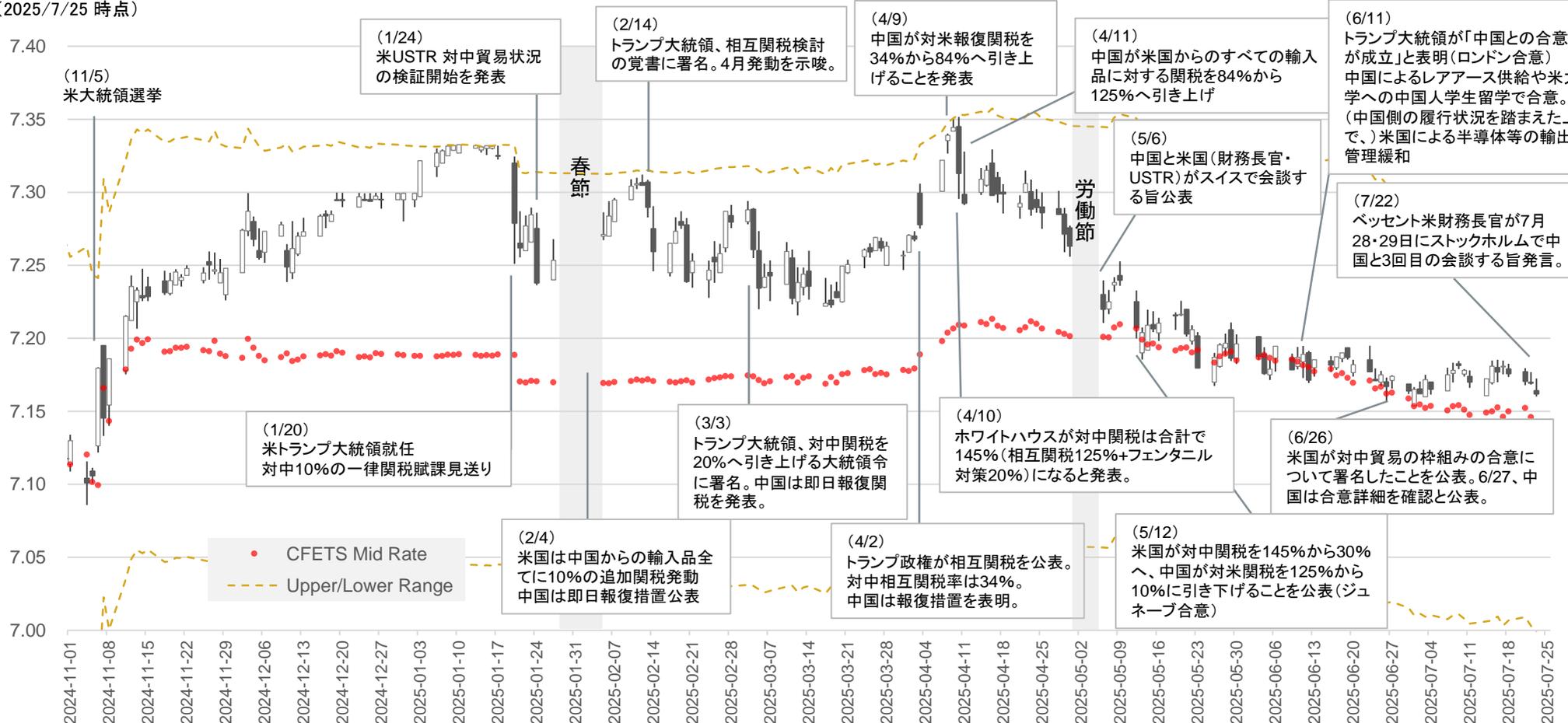
Interest Rate (%)



【TOPICS】 第3回中米通商協議へ

- 第1回協議:5月、米国は対中関税率を145%→30%に、中国は対米関税率を125%→10%に引き下げる旨発表(ジュネーブ合意)
- 第2回協議:6月、中米間で重要鉱物(レアアース・磁石)や先端技術(半導体・ソフトウェア等)の輸出管理緩和の枠組みで合意。また米国の中国人留学生に対する在留資格の管理方針緩和を発表(ロンドン合意)。
- 第3回協議:7月28~29日(予定)にスウェーデンのストックホルムで3回目となる中米協議を実施する旨発表。ジュネーブ合意90日後の8月12日に設定されている追加関税適用一時停止措置の期限延長を含め協議すると見られる。足元では人民元相場はじりじりと元高進行し、落ち着いた値動きとなっているが、協議の結果次第では再び動きづく展開も想定されることから、引き続き動向を注視していきたい。

(2025/7/25 時点)



中米関税交渉期限(8/12)

【マーケットデータ】

【USDCNY Daily】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	PBOC FIXING
7/21	7.1771	7.1796	7.1679	7.1768	7.1522
7/22	7.1698	7.1769	7.1682	7.1756	7.1460
7/23	7.1640	7.1725	7.1534	7.1610	7.1414
7/24	7.1498	7.1582	7.1478	7.1547	7.1385
7/25	7.1606	7.1693	7.1582	7.1679	7.1419

【USDCNH Daily (Reference value from Bloomberg)】

DATE	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE	Fixing*
7/21	7.1789	7.1836	7.1694	7.1710	7.1812
7/22	7.1710	7.1798	7.1684	7.1712	7.1718
7/23	7.1712	7.1727	7.1511	7.1518	7.1705
7/24	7.1518	7.1565	7.1441	7.1532	7.1485
7/25	7.1532	7.1702	7.1511	7.1677	7.1628

*CNH (HK) Fixing published at 11:15 A.M. by Hong Kong Treasury Markets Association

【SHIBOR FIXING(%)】

	7/21	LOW	HIGH	7/25
ON	1.3660	1.3170	~	1.6350
1M	1.5340	1.5290	~	1.5450
3M	1.5530	1.5490	~	1.5590
6M	1.5920	1.5910	~	1.6110
1Y	1.6220	1.6210	~	1.6390

【CNY MARKET Weekly】

	OPEN	HIGH	LOW	CLOSE
USD/CNY	7.1771	7.1796	7.1478	7.1679
100JPY/CNY	4.8356	4.9043	4.8321	4.8529
EUR/CNY	8.3412	8.4275	8.3366	8.4202
HKD/CNY	0.91436	0.91468	0.91086	0.91316
GBP/CNY	9.6257	9.7140	9.6233	9.6508

【MAJOR CURRENCY Weekly (Reference value from Bloomberg)】

	OPEN(TKY6:00)	HIGH	LOW	Thursday CLOSE
USD/JPY	148.15	148.66	145.86	147.01
EUR/USD	1.1634	1.1789	1.1615	1.1749
EUR/JPY	172.65	173.61	171.37	172.72
GBP/USD	1.3425	1.3589	1.3399	1.3510
AUD/USD	0.6514	0.6625	0.6498	0.6590

(数据来源: Bloomberg)

ご留意事項

・本資料に関するご照会先

- 当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。
- ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。
- 投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。
- また、当資料の著作権はみずほ銀行及びみずほ銀行（中国）に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。
- 本資料中の括弧書きで引用された出所元の文または文章の内容に含まれるまたは解釈される可能性のある意見や論評は、括弧書きの末尾に記載の出所元の意見や論評であり、当行の意見や論評を表明するものではありません。

本資料に関するご照会先：

みずほ銀行（中国）有限公司 中国為替資金部 カスタマーチーム
(Tel:86-21-3855-8888 Ex:1320～1329 & 1371～1378)

MIZUHO

瑞穂銀行